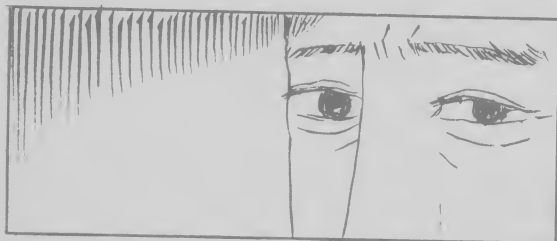


桜  
の  
頃



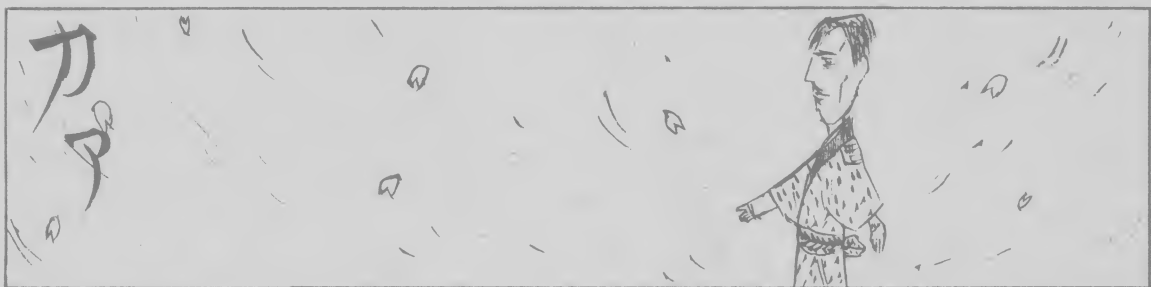
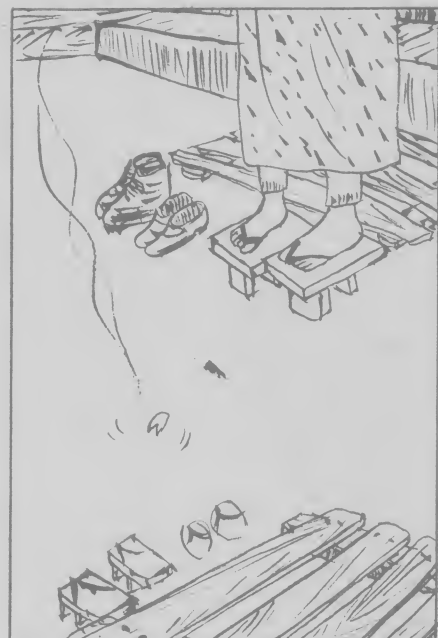
菅  
野  
修



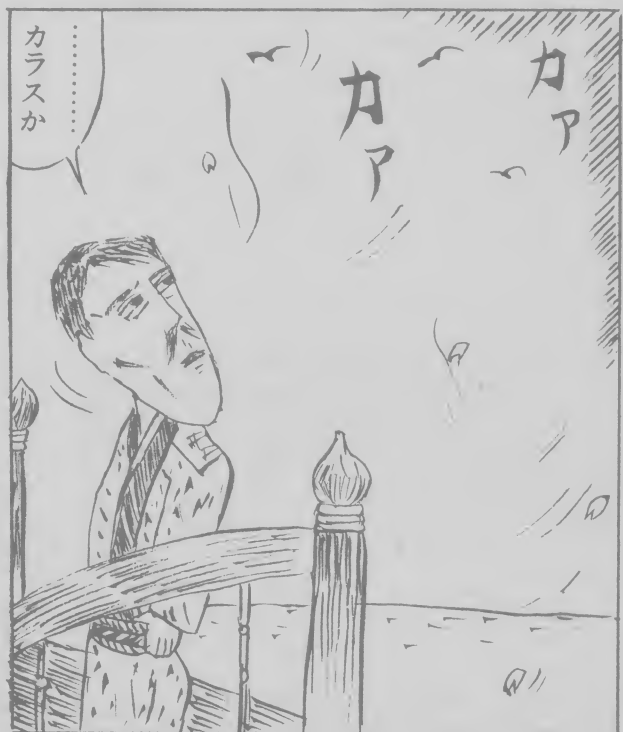




サクラさんわたしの足は苦多びれた

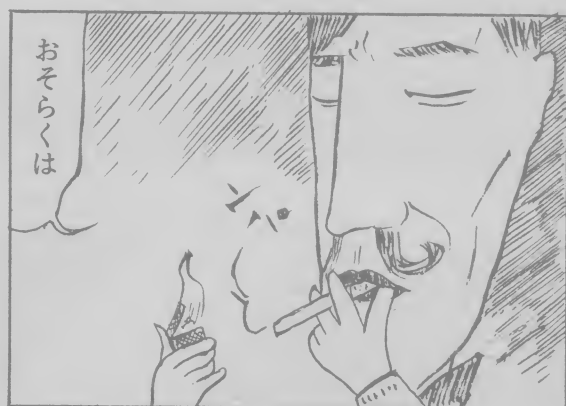
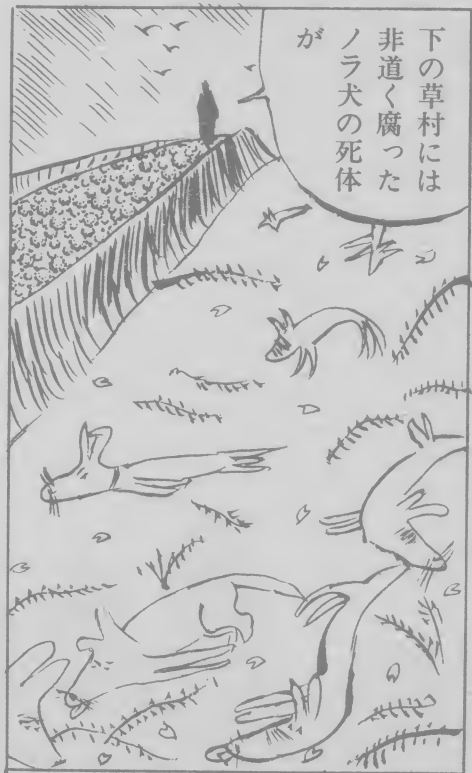
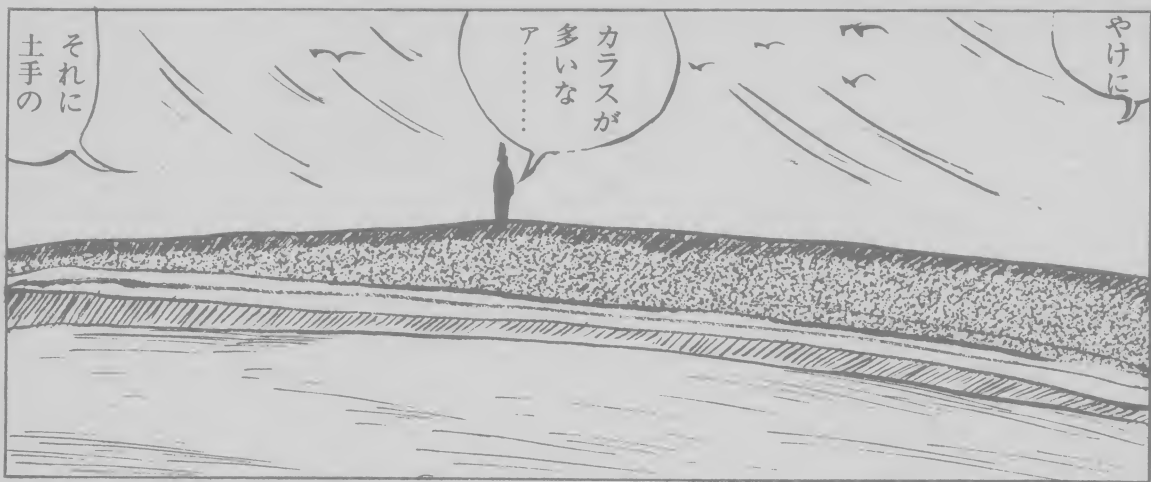


なんだか  
今日は

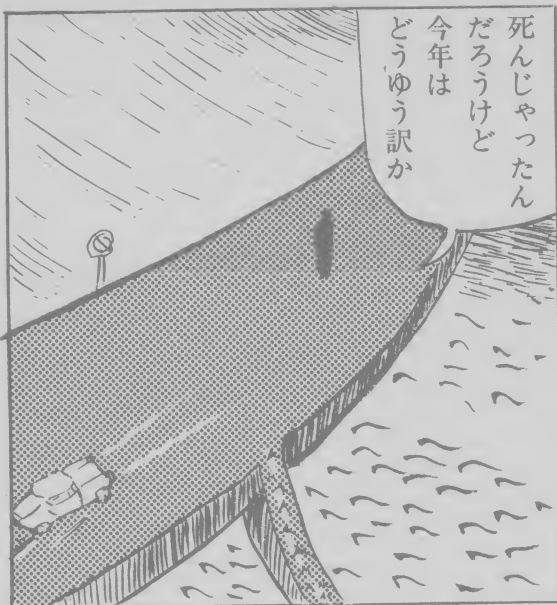


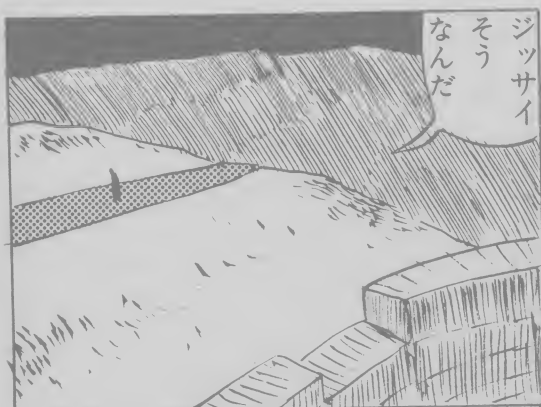
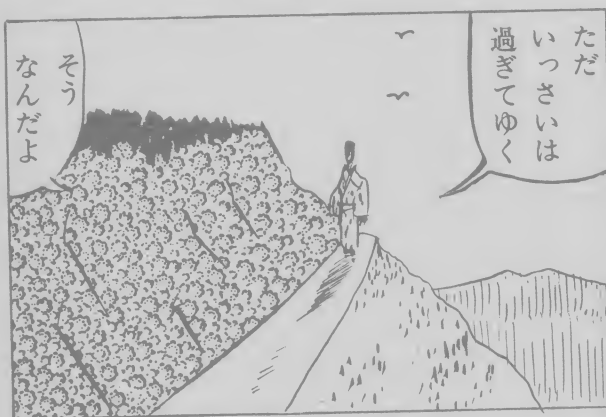
カラスか

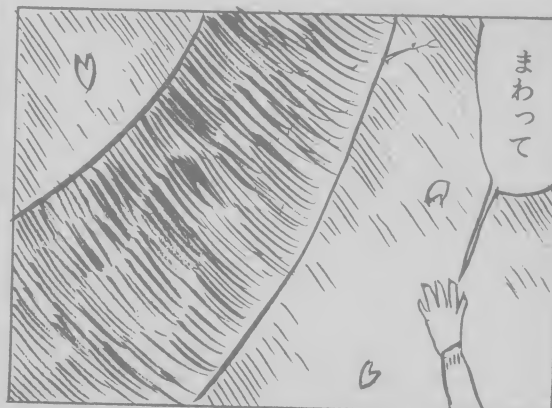
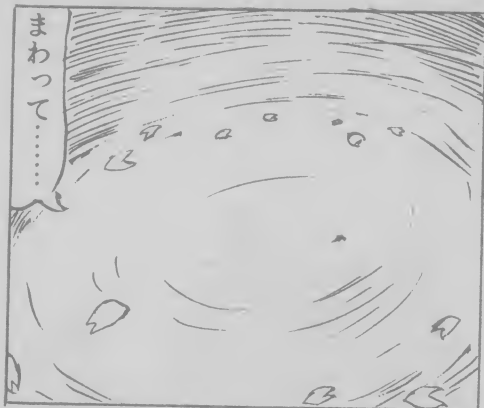
カア  
カア



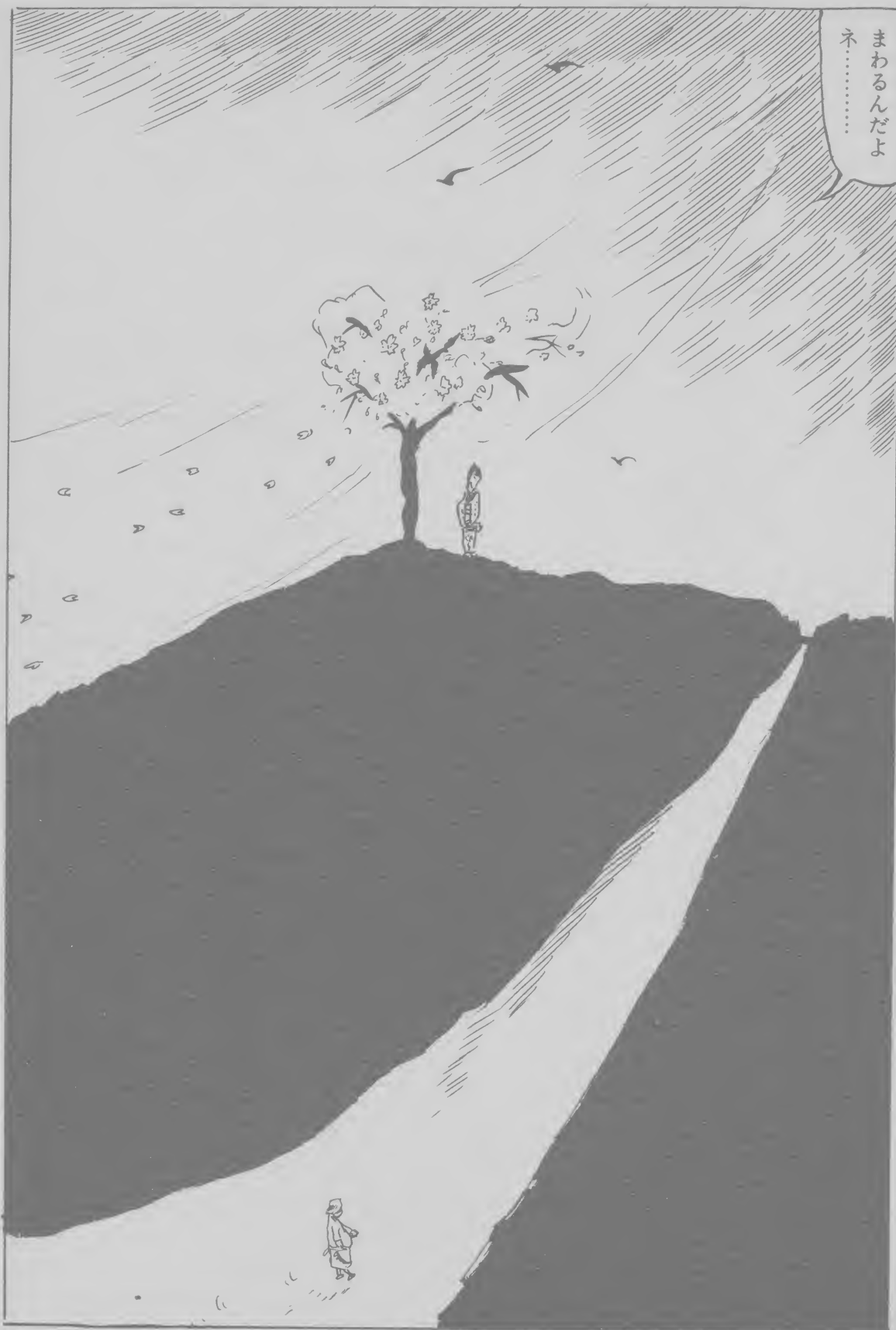




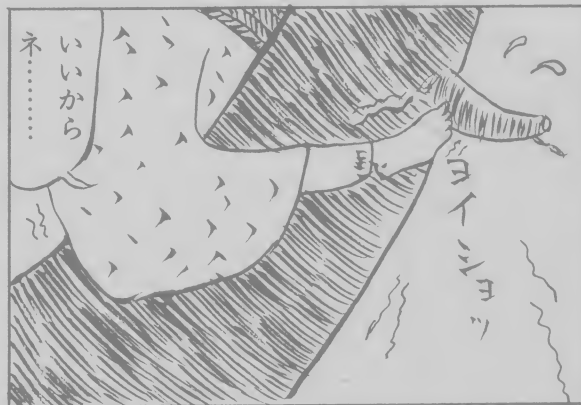
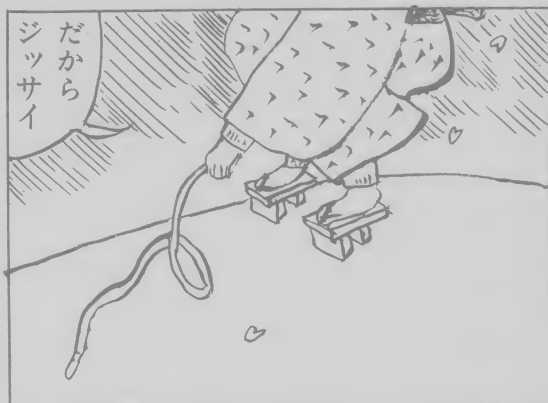


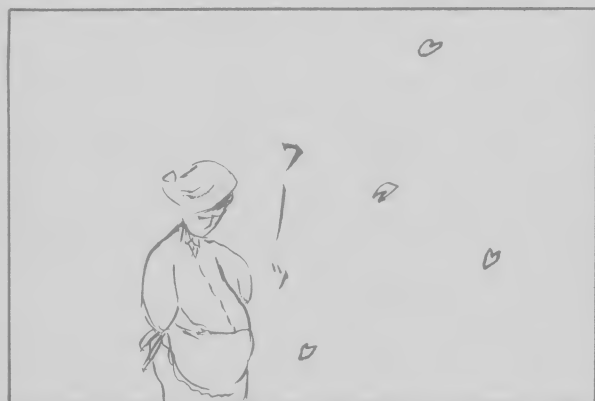


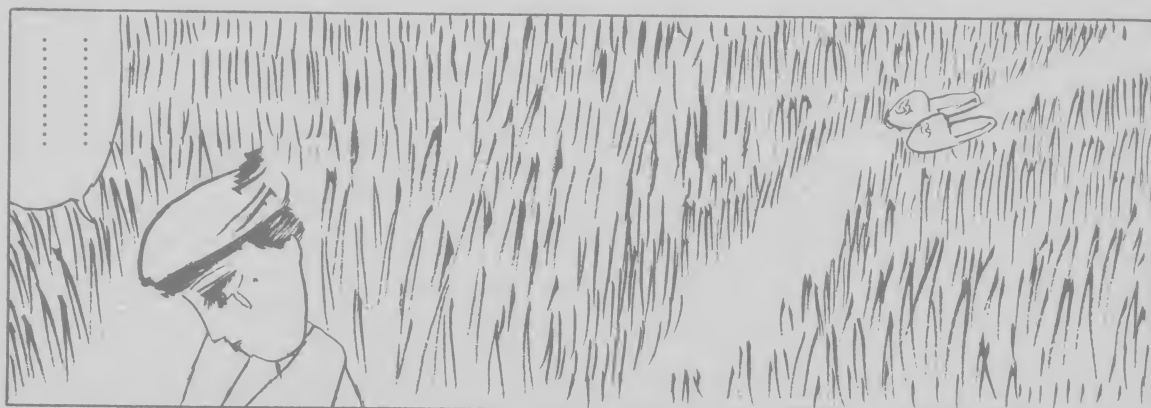
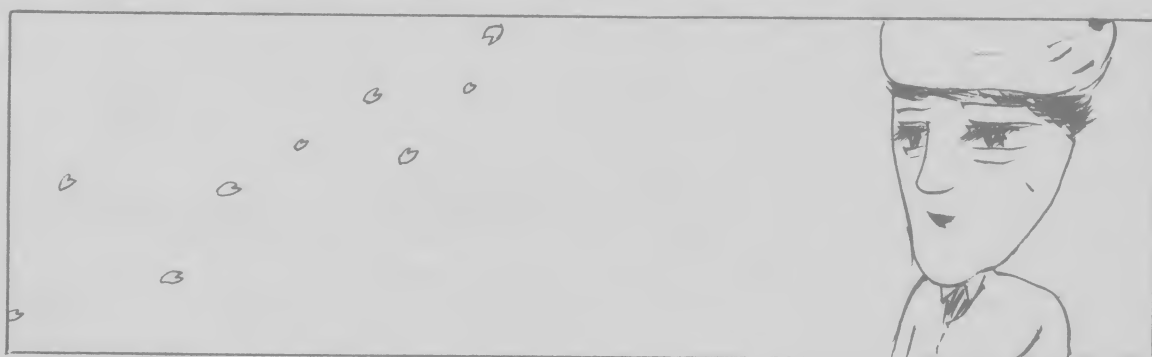




まわるんだよ  
ネ……………

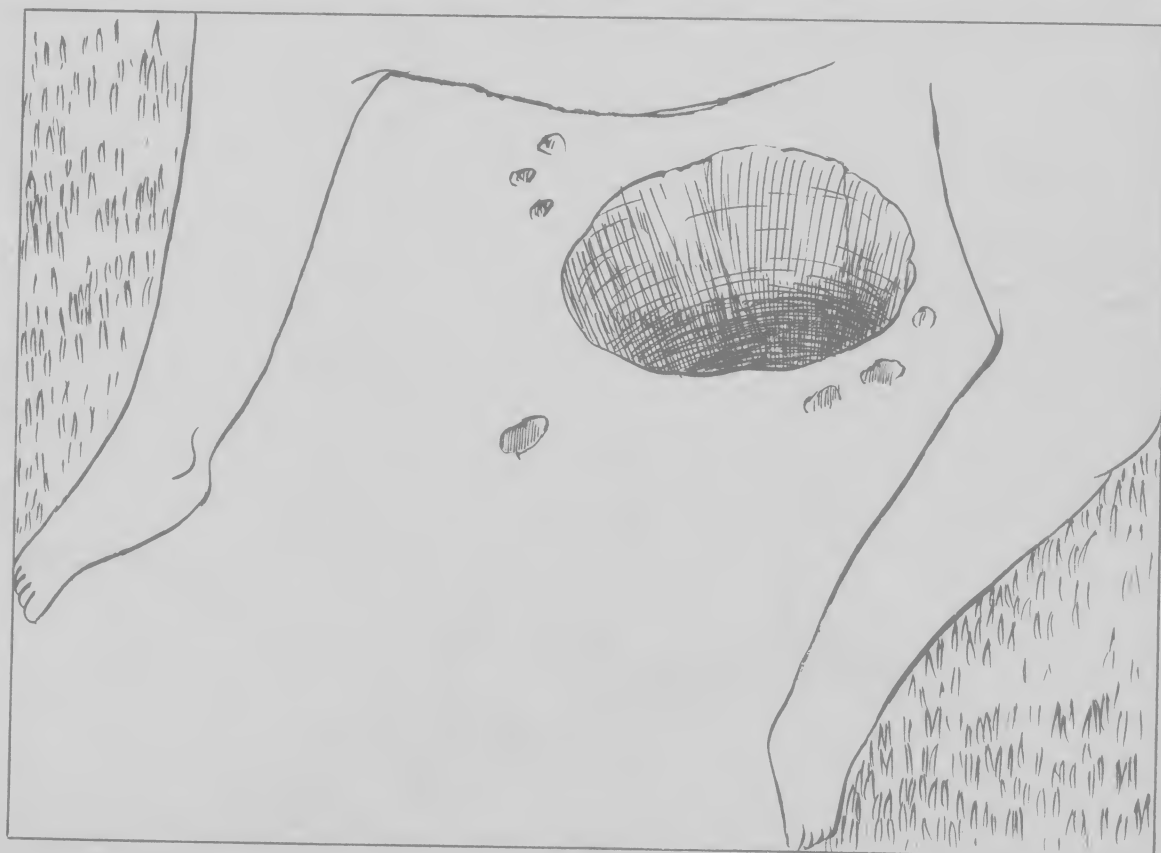
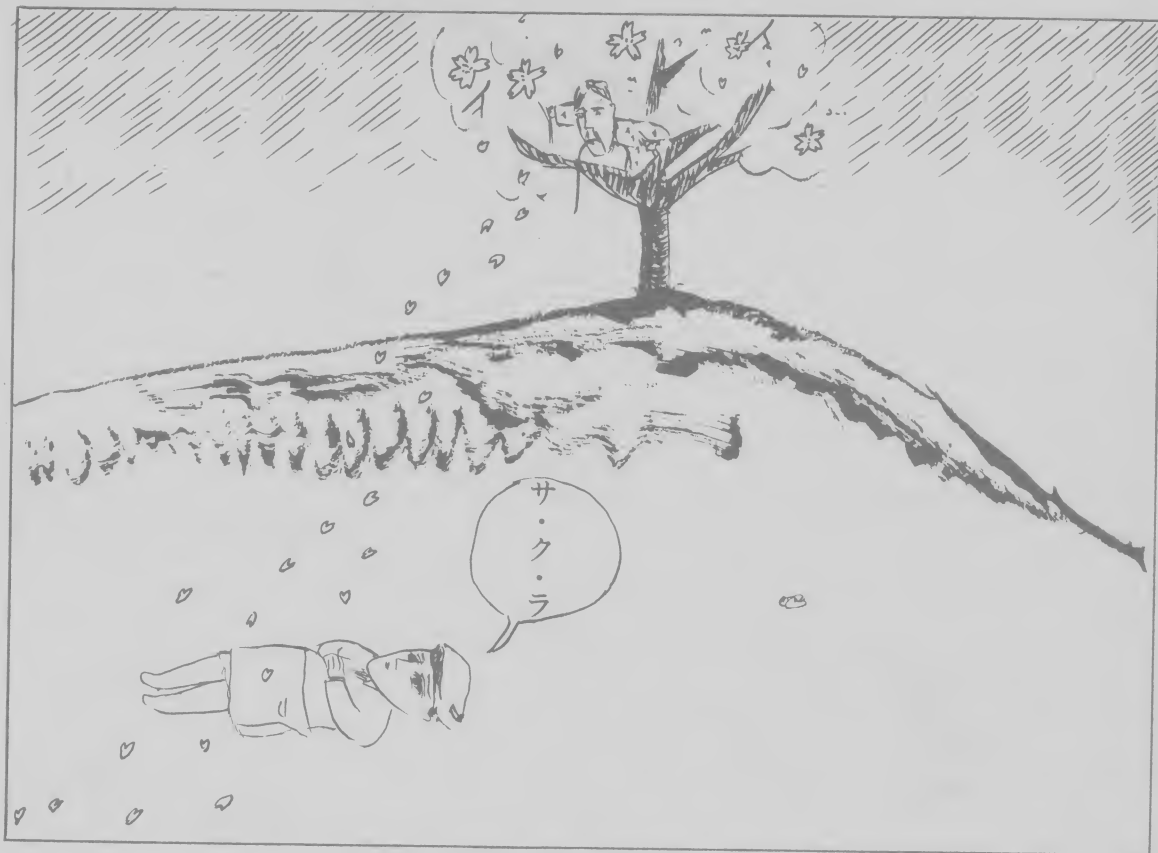








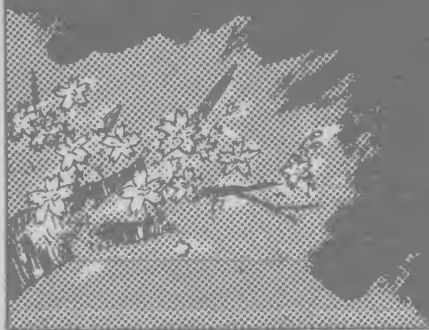


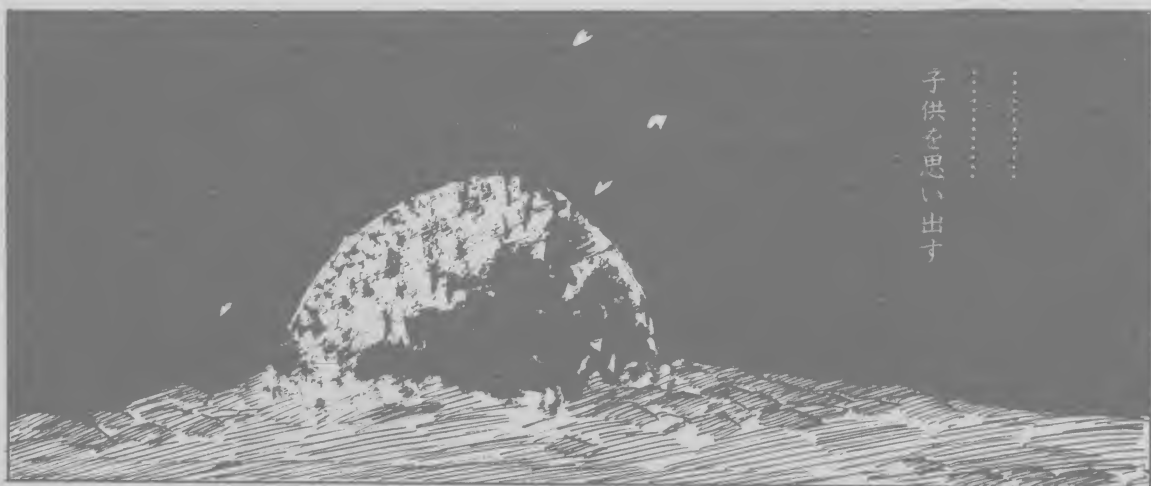




悲しくて  
小さくしろい  
さくらかな

桜の頃どうゆう訳か映画館の便所を思い出す  
秋にやめた運動会を思い出す  
すし屋の出前の自転車を思い出す  
隠れて飲んだビールのかきを思い出す  
女の人のうしろ向きのスカートを思い出す  
平石の家々  
野辺地の海  
タンホホの花を思い出す  
それから駅のホームのはしっこを思い出す  
古本屋の女の子を思い出す  
どうして居るかな  
別れ離れの話を思い出す  
いつか書いた手紙を思い出す  
東京  
仙台  
好摩の頃を思い出す  
兄きょうといたカワオのタタキの味を思い出す  
病院の窓  
ハンヤマについた自分の名前  
尿の検査  
けたるい午後を思い出す  
また  
またはい思い出す  
それから……





群青の空の一番星  
懐しくてハイカラで  
透明で涼しくて  
キラキラひかる

## 待望の珠玉短篇集！

鈴木翁二作品集Ⅰ

# マツチ一本の話

A5判二百二十二頁 上製函入

5月10日刊行予定  
限定四百部・予約者には著者  
サイン入 定価二千円 送料二百円

ご予約は代金到着をもって成立いたします  
御注意 『マツチ一本の話』は『鈴木翁二作  
品集』と同じ内容であります。

千代田区神田神保町一―六二 青林堂

